

2ストロークエンジン

チェーンソー

YS-CS3800

YOTUKA

取扱説明書

初版

混合燃料
25 : 1

上記以外や 25 : 1 ~ 50 : 1 のような
幅を持たせた混合燃料使用不可



この QR コードを
読み取ることで、
本製品の使い方などを
動画でご覧いただけます。



ご使用前に、必ず取扱説明書をお読
みになり、内容を理解してからお使
いください。

目次

はじめに	3	長期間使用しない時	28
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために		本機を1週間以上使用しない時	28
安全にお使いいただくために	4	故障と思ったら	30
チェンソーの安全に係る事項	4	消耗品一覧	32
チェンソーの作業に係る事項	5	FAX 見積り・注文用紙	33
振動障害の防止	6	保証内容について	34
主要諸元	7	お客様ご相談窓口	35
各部の名称	8		
梱包部品一覧表	9		
組立て	10		
ガイドバーとソーチェンの取付け	10		
ソーチェン張りの調整	12		
オイルタンクキャップの取付け	13		
燃料タンクキャップの取付け	13		
運転前の点検	14		
混合燃料 25:1 の作り方	14		
燃料の点検・補充	15		
チェンオイルの点検・補充	15		
運転操作の仕方	17		
エンジンのかけ方	17		
エンジンの止め方	19		
チェンブレーキの操作と確認	19		
ソーチェンの張りの確認	20		
チェンオイルの確認	20		
オイル吐出量の調整	20		
伐木作業	21		
伐倒の仕方	21		
枝払い	21		
玉切り	22		
禁止事項	22		
順守事項	22		
点検整備・清掃の仕方	23		
エアクリーナー	23		
点火プラグの点検	24		
キャブレターの点検	24		
清掃	25		
チェンの目立て	26		

はじめに

このたびはチェンソーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

チェーンソーの安全に係る事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・運転中は、排気ガスに十分注意してください。・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。・燃料キャップは確実に締めてください。・チェーンの取付けは確実に行ってください。・必ず両手でしっかり本体を保持してください。・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。・始動前点検を実施してください。・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・定期点検整備を行ってください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・定期点検整備を行ってください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

チェーンソーの作業に係る事項

警告

<p> 禁止</p>	<ul style="list-style-type: none">・身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。・ソーチェンや回転部分に顔や手足を近づけないでください。・ご使用時は、子ども、動物、ペットを近づけないようご注意ください。・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。・はしごや脚立などの不安定な場所、姿勢で使用しないでください。・ガイドバーの先端では、切断しないでください。キックバックの危険があります。・チェーンソーで地面を掘り返すような使用はしないでください。・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。・エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
<p> 指示</p>	<ul style="list-style-type: none">・レイノー現象がみられた場合は、ただちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。・適切な時期に休憩をとってください。・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。・本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。・キックバックに注意してください。・少しの移動でもエンジンを停止し、チェンブレーキをかけ、ハンドルを持って運搬してください。

注意

<p> 禁止</p>	<ul style="list-style-type: none">・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。・エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
<p> 指示</p>	<ul style="list-style-type: none">・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。・万一来るに備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。・装置を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

注意

- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイル、チェーンオイルを入れしないでください。



振動障害の防止

●1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

①10m/s ² より小さい場合		②10m/s ² より大きい場合	
1回の連続作業時間	10分以内	1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内	1日の作業時間	T: 1日の最大作業時間 $T=200 \div (a \times a)$ a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(m/s ²)

●製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・ソーチェンの目立てを行い、最良の状態で使用してください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

主要諸元

モデル名	YS-CS3800
エンジン	37.0cm ³ /2ストローク空冷エンジン
エンジンパワー (MAX)	1.3kw/10,000rpm
エンジンスピード (作業中)	19,300rpm
エンジンスピード (アイドリング)	3,000rpm±300rpm
最大チェーン速度	19.3m/s
ソーチェンピッチ	3/8inch
ソーチェンゲージ	0.050inch (1.3mm)
ガイドバータイプ	スプロケットノーズバー
ガイドバーサイズ	16inch
ガイドバードライブリンク数	57
燃料	混合燃料 25:1
燃料タンク容量	0.31L
チェーンオイル	チェーン専用オイルまたはSAE#10W-30
オイルタンク容量	0.22L
三軸合成値	フロントハンドル：9.41m/s ² K=1.5 リヤハンドル：8.80m/s ² K=1.5
騒音レベル	117dB
本体重量／総重量	4.6kg／5.5kg
対応ソーチェン型番	【オレゴン社製ソーチェン】 ・ 91PX057E リンク数 57 ・ 91VXL057E リンク数 57
互換点火プラグ	BPM7A(NGK)

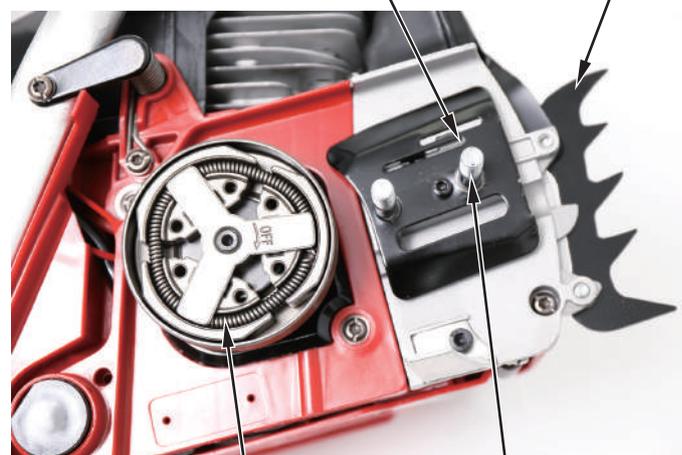
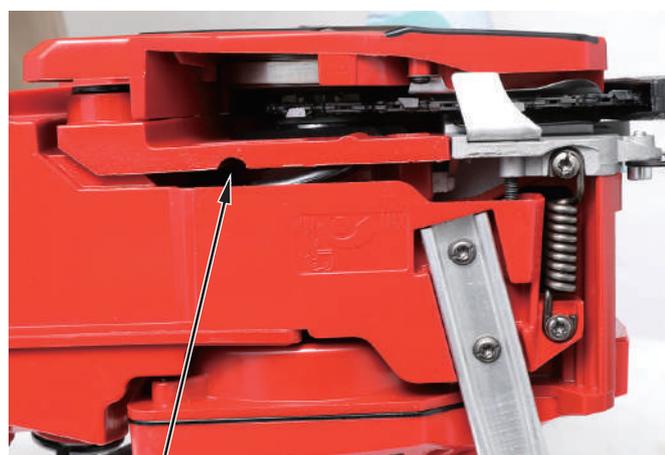
※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ご理解・ご了承ください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



オイル吐出量調整ネジ

クラッチ

チェーンカバー取付ネジ



梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. ガイドバーカバー</p> 			
<p>D. 工具★</p>  <p>D-1 D-2 D-3 D-4</p>		<p>C. ソーチェン</p> 	<p>F. ガイドバー</p> 	
<p>E. 混合タンク</p> 		<p>G. 燃料タンクキャップ</p> 	<p>H. オイルタンクキャップ</p> 	<p>I. 丸ヤスリ(Ø4mm)</p> 

※本体に取付済みの場合があります。

※上記写真はプロトタイプのため、製品仕様と異なる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

★付属の工具は、簡易的なものです。

■ご用意いただくもの（混合燃料を作る場合に必要になります）

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・2ストローク用オイル JASO FB
- ・漏斗(じょうご)

組立て

⚠ 注意

- ・説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・指定したガイドバーとソーチェンを使用してください。
- ・手袋を着用してソーチェンを取付けてください。

ガイドバーとソーチェンの取付け

- 1** フロントガードをハンドル方向に引き寄せ、チェーンブレーキを解除します。解除しないとカバーは外せません。



- 2** チェンカバー取付ナットを付属の工具で取外し、チェンカバーを取外します。



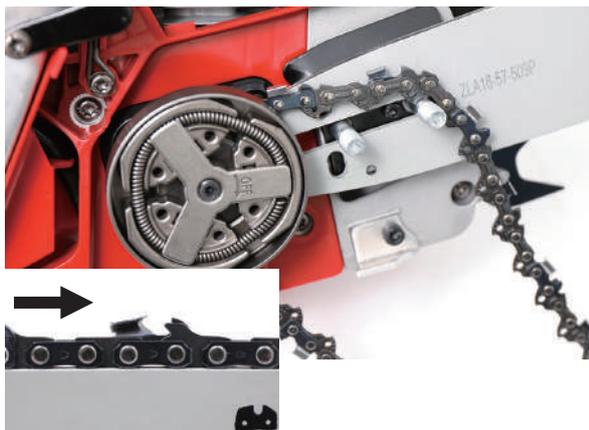
- 3** ガイドバーをクラッチ寄りに取付けます。



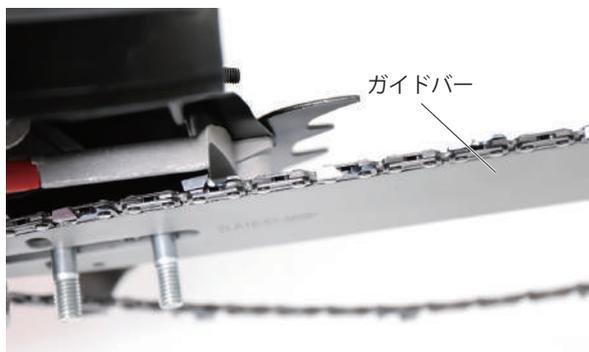
- 4** スプロケットの溝にソーチェンをはめます。



組立て



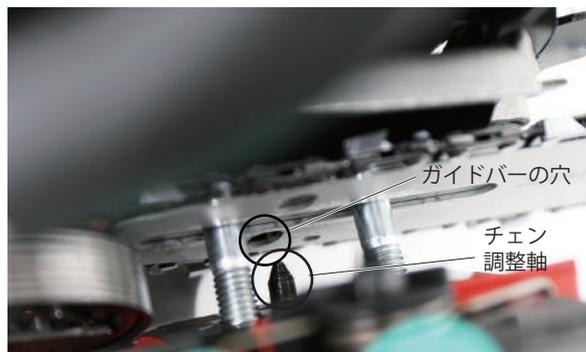
- 5** ソーチェーンをガイドバーの溝に入れていきます。



⚠ 注意

ソーチェーンはスプロケット、ガイドバーに確実に
はめてください。はまっていない状態でエンジ
ンをかけると、リコイルロックシロープ切れやウォ
ームギア摩擦による溶け固着、エンジンかぶり、最
悪焼き付きを起こしてしまいます。

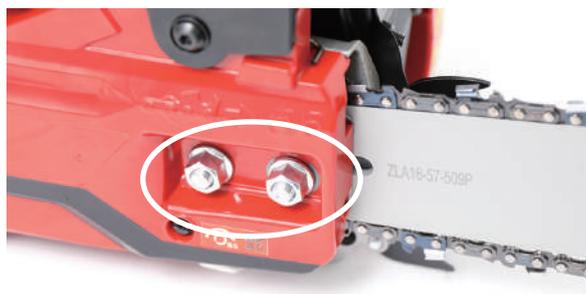
- 6** チェンカバー側のチェン調整軸をガイドバーの穴にはめ込むように取付けます。



- 7** ガイドバーの穴と調整軸の位置がずれていて入らない場合は、チェン調整ネジを回して調整軸を移動させます。



- 8** チェンカバー取付ナットを軽く締めます。
※この段階で強く締めすぎると、調整ネジが動
かなくなり破損の原因になります。



組立て

9 ソーチェーンが手で回るか確認します。

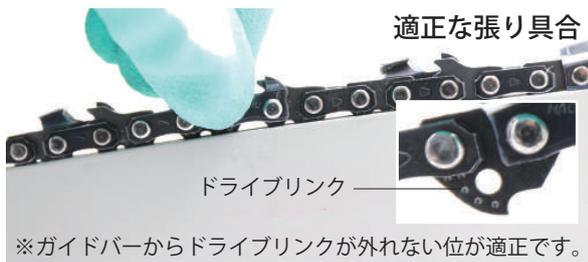


10 回らない場合は、ソーチェーンが内部で外れている可能性があります。本体底部を見てスプロケットからチェーンが外れていないか確認します。



ソーチェーン張りの調整

ソーチェーンは常に適正な張りに調整します。新しいソーチェーンは、伸びが大きいため、頻繁に張りの調整をしてください。張りが弱いとソーチェーンが外れやすくなります。また強いとソーチェーン、ガイドバーなどの部品の早期摩耗の原因となります。



調整の仕方

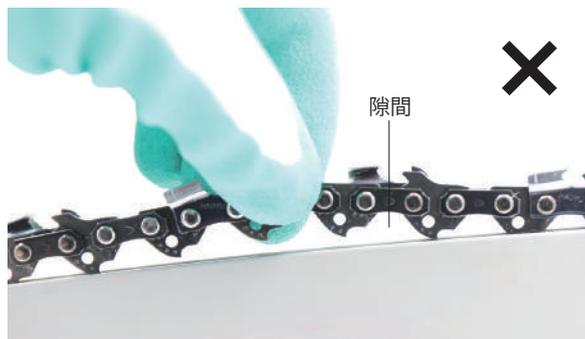
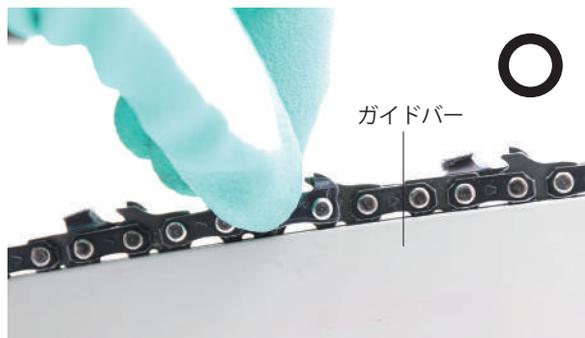
1 ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェーン張り調整ネジを時計回りに回すと張っていきます。



⚠ 注意

チェーン調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがあります。

2 ソーチェーンの張りは、ガイドバーとの隙間が出ないように張ります。



3 ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェーンカバー取付ナットを付属のレンチでしっかり締付けます。



組立て

オイルタンクキャップの取付け

キャップが外れたり、交換する時は、下記要領で取付けます。

- 1 オイルタンクキャップの外れ止めを給油口に挿入します。

「Oil」の文字が目印です。



燃料タンクキャップの取付け

キャップが外れたり、交換する時は、下記要領で取付けます。

- 1 燃料タンクキャップの外れ止めを給油口に挿入します。

「Fuel OilMix」の文字が目印です。



運転前の点検

警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れしないでください。



混合燃料 25:1 の作り方

市販の25 : 1~50 : 1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼き付きの原因になります。

- 1 無鉛レギュラーガソリン
 - ・2ストローク用オイル JASO FB
 - ・漏斗(じょうご)
 - ・混合タンク(付属)
 を準備します。
- 2 無鉛レギュラーガソリン25に対し2ストローク用オイル1で600mlの混合燃料を作ります(例)
- 3 混合タンクに無鉛レギュラーガソリンを規定量①まで入れます。

- 4 2ストローク用オイルを②まで続けて入れます。



25 : 1 ガソリン オイル割合 早見表	ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
	100ml	4ml	400ml	16ml
	200ml	8ml	500ml	20ml
	300ml	12ml	600ml	24ml

- 5 混合タンクのキャップをしっかりと締め、混合タンクを振り、カクハンします。

運転前の点検

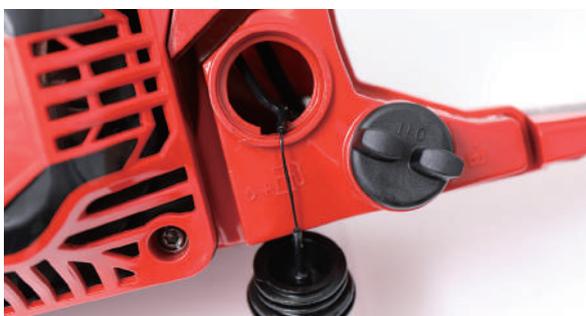
燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補充します。
※燃料給油口とオイル給油口を間違わないよう十分ご注意ください。このマークが目印です。

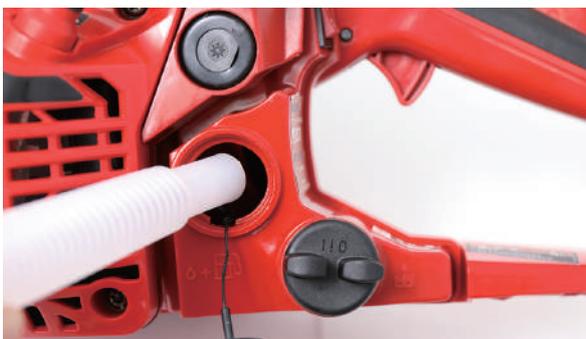


■燃料の給油

- 1 潤滑油混合ガソリン (25:1) を準備します。(P.14 参照)
- 2 燃料タンクキャップを反時計回りに回して開けます。



- 3 潤滑油混合ガソリン(25:1)を、少しずつこぼさないようジョッキや漏斗(じょうご)等を使い給油します。



- 4 給油が終わったら燃料タンクキャップをしっかり締めます。締めがあまりいと漏れの原因となります。



※キャップの溝にドライバーなどを挿込むと強く締付けられますが、強すぎるとキャップの破損の恐れがあります。

チェンオイルの点検・補充

チェンオイルを点検し、不足している場合は補充します。チェンオイルの不足はガイドバー、ソーチェンの摩耗を早め故障の原因になります。

※オイル給油口と燃料給油口を間違わないよう十分ご注意ください。このマークが目印です。



■点検手順

- 1 オイルタンクキャップを反時計回りに回して開けます。



- 2 タンク内のオイル量を点検します。



運転前の点検

■チェーンオイルの補充

- 1 チェンソー専用オイルまたはSAE 10W-30 (4ストローク用エンジンオイル) を準備します。
- 2 オイルタンクキャップを反時計回りに回して開けます。
- 3 チェンオイルを、少しずつこぼさないようにジョッキや漏斗(じょうご)等を使い給油します。



- 4 給油が終わったらオイルタンクキャップをしっかり締めます。締めがあまいと漏れの原因となります。



※キャップの溝にドライバーなどを挿込むと強く締付けられますが、強すぎるとキャップの破損の恐れがあります。

運転操作の仕方

警告

禁止	<ul style="list-style-type: none">燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
指示	<ul style="list-style-type: none">エンジン始動時、ソーチェンが回り始めることがあるので、チェンブレーキを必ずかけてエンジンを始動してください。エンジンが始動したら、アクセルロックを解除し、チェンブレーキも解除してください。必ず両手でしっかり本体を保持してください。平坦な場所で作業を行ってください。エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。少しの移動でもエンジンを停止し、チェンブレーキをかけ、ハンドルを持って運搬してください。

注意

- エンジンが始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。必ず両手でしっかり本体を保持してください。

エンジンのかけ方

- 1 左手でフロントガードを前方に倒してチェンブレーキをかけます。



- 2 エンジンスイッチをON「I側」にします。



- 3 プライマリーポンプを10回程度押し、燃料を引き出します。※燃料が貯まったらOK。



- 4 チョークレバーを止まる位置まで引っ張ります。(強く引きすぎないでください。)



運転操作の仕方

- 5** 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ 50~60cm 引きます。引きが少ないとエンジンはかかりません。



ポイント

この時、初爆が一回だけ「ブルンッ」と起こります。一回だけなので聞き逃さないようにしてください。ここで聞き逃して何度もチョークを引いたままリコイルスターターロープを引くと、プラグを濡らしてしまいます。特に注意が必要です。万が一、濡らしてしまった場合は、P.31をご覧ください。

- 6** 初爆の確認ができればチョークを戻します。



注意

- ロープは一杯に引ききらないでください。また、手を放してロープを戻さないでください。故障の原因になります。
- 引く回数が少なすぎるとエンジンはかかりません。エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。

- 7** 再度リコイルスターターロープをおおよそ50~60cm引きます。

リコイルの引き方ポイント

※写真は別機種



① 良い例：片手でグリップ、足で本機をしっかり押さえ、約55cm真っ直ぐ引いている所。



②③ 悪い例：穴に対してロープを真っ直ぐ引かずに斜めに引くと、抵抗になりエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。



- 8** エンジンが始動したらフロントガードを手前に引き寄せて、チェンブレイキを解除します。

注) チェンブレイキをかけたまま、アクセルをふかさないでください。チェンブレイキが焼き付き、故障の原因となります。



ブレーキが解除された状態

- 9** セーフティーボタンを握りながら、アクセルトリガーを握ることで高速運転になります。



運転操作の仕方

警告

- ・チェンブレーキがかかっている間は、エンジンの回転を上げないでください。
- ・エンジンブレーキにおが屑などがつまり、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

エンジンの止め方

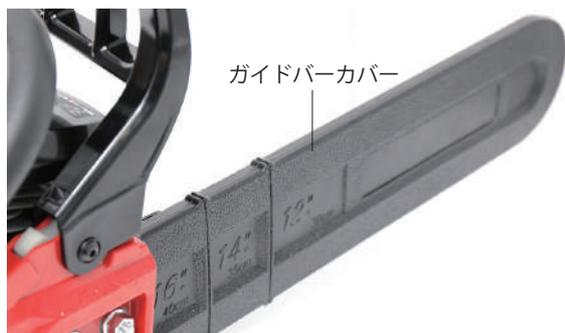
- 1 アクセルトリガーより手を放し、低速運転にします。



- 2 エンジンスイッチをOFF「○側」にします。



- 3 ソーチェンが完全に停止した後に、ガイドバーカバーを取付けます。



★本機を使用後は、毎回清掃を行ってください。
清掃の仕方はP.25参照

チェンブレーキの操作と確認

チェンブレーキは、チェーンの回転を停止させる機能です。

■操作手順

- 1 エンジンの始動手順に従って、エンジンを始動します。P.17参照
- 2 アクセルトリガーを一旦握り、回転を上げたあとアクセルトリガーを放します。



- 3 左手でフロントガードを前方に倒してチェンブレーキをかけます。



ブレーキがかかっている状態

- 4 ソーチェンが瞬時に止まることを確認します。

運転操作の仕方

- 5 フロントガードを手前に引き寄せて、チェーンブレーキを解除します。



ブレーキが解除された状態

- 6 エンジンの停止手順に従って、エンジンを停止させます。(P.19参照)

ソーチェーンの張りの確認



警告

- ・ソーチェーンの接続部を毎回確認し、破損がないか確認してください。運転中にソーチェーンが切れて重大な事故を起こす恐れがあります。
- ・ソーチェーンの伸びは早めです。使用前は毎回張りを確認してください。

- 1 ソーチェーンにたるみがないか確認します。
※手袋を装着して行ってください。



- 2 たるみがあれば張りの調整をします。P.12参照



チェーンオイルの確認

チェーンオイルをチェーンに行き渡らせることで、チェーンを長持ちさせます。オイルが行き渡ってから作業を進めてください。

- 1 地面に向けて高速回転させます。
- 2 地面の濡れが目視で確認できれば正常にオイルが吐出しています。



- 3 オイルが吐出されない、吐出量が極端に少ない場合は、本体のオイル吐出口とガイドバーの清掃を行います。それでも出ない場合は、吐出量の調整を行います。(清掃はP.25を参照)

オイル吐出量の調整

硬い木、太い木を切る場合、冬季にオイル粘度が高くなり吐出量が少なくなった時などに、吐出量の調整を行います。

■操作手順

- 1 付属品のマイナスドライバーを準備します。
- 2 製品の底部にある調整ネジを回して、吐出量を調整します。反時計回りに回すと吐出量が増えます。

注) 回しすぎに注意 90°程度しか回りませんので、無理に回さないでください。



製品の底部

伐木作業

警告

- ・伐倒の際、予め木が倒れる方向をよく確認し、退避方向、場所を決めておいてください。
- ・かん木、枝条、つる、浮石等で、伐倒の際その他作業中に危険を生ずる恐れのあるものを取除いてください。
- ・高所での作業時は、安定した足場を確保してください。
- ・片手持ち操作はしないでください。
- ・異常時は速やかにエンジンスイッチをOFFにしてください。

伐倒の仕方

1 伐倒前準備

伐倒する木の傾き、伐倒後の作業方向等を考慮し、伐倒する方向を決めます。

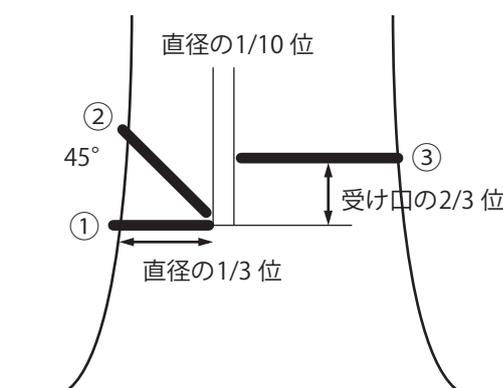
周辺の障害物、灌木、浮石などを除去します。
木が倒れる反対方向に退避方向を決めておいてください。

2 受け口切り

①水平に切り込みを入れ、②次に45°の角度で切り込みを入れます。

3 追い口

③追い口は、受け口の高さの2/3の高さに、受け口水平面と平行に切り込みを幹の1/10位つるとして残します。



4 木が倒れ始めたら

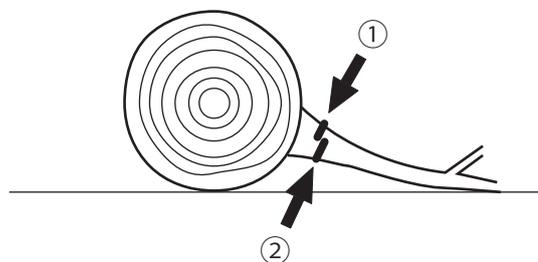
チェーンソーのエンジンを停止し、安全な場所に退避します。

枝払い

伐倒した木の枝を切り落とします。

ポイント

- ・ガイドバーの先端部分は、キックバックの防止のため使用しないでください。
- ・地面などで押さえられて弓状になっている枝などは、枝の跳ね返りに注意し、内側からなた目を入れ反発力を弱めてから切り払ってください。
- ・支え枝は、最後まで残してください。
- ・太い枝は、初めに上側①から1/3ほど切り込みを入れ、下側②から切り落としてください。



- ・枝を切るにより、材の転がりや滑りにご注意ください。

伐木作業

玉切り

丸太の切り離しを行います。支持の仕方によって切り方が異なります。

斜面で行うときは、斜面の上部で作業してください。

ポイント

●両端に支持がある場合

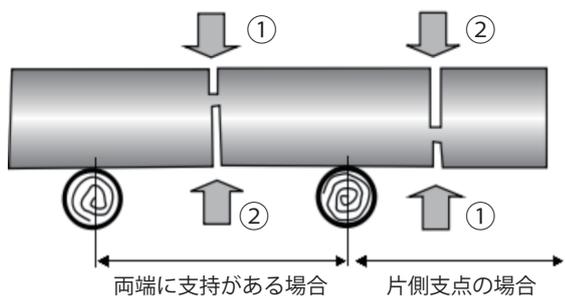
最初の切り込みは、上側から下側に向け直径の1/3まで切り込みます。

次に下側から上側に向けて切り込み、最初の切り込みとつながるようにします。

●片側支点の場合

最初の切り込みは、下側から上側に向け直径の1/3まで切り込みます。

次に上側から下側に向けて切り込み、最初の切り込みとつながるようにします。



禁止事項

- 1 ガイドバーの先端上部を使うことはしないでください。キックバック（跳ね返り）による怪我の恐れがあります。



- 2 肩より高い木を切ることはしないでください。

順守事項

- 1 両手でしっかりハンドルを握って操作してください。
- 2 張力でチェーンが挟まれないように注意してください。
- 3 ガイドバーの先端上部を木などに触れないようにしてください。
- 4 高回転で使用してください。

点検整備・清掃の仕方

エアクリーナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。

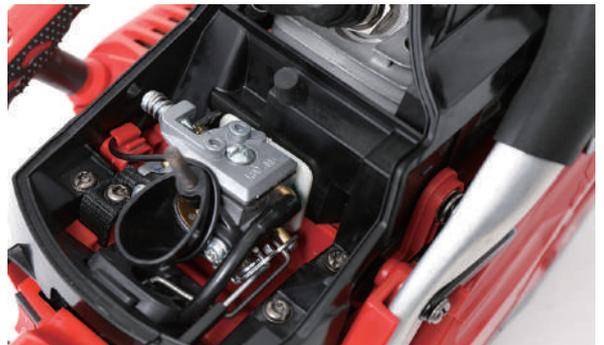
- 1 エアクリーナーカバーノブを緩めます。



- 2 カバー上部を支点に下部を持ち上げ、次に下部を戻す（押しイメージ）と外れます。



- 3 エアフィルタの表面や中側の汚れをエアダスター等で吹き飛ばします。



- 4 エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、水ですすいだあとよく乾燥させます。

- 5 取外しと反対の手順で取付けます。

点検整備・清掃の仕方

点火プラグの点検

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

- 1 エアクリーナーカバーノブを緩め、カバーを外すと点火プラグがあります。



- 2 プラグキャップを外します。



- 3 付属のプラグレンチで、反時計回りに回して点火プラグを外します。固い場合は、プラグレンチの柄の部分回転方向に叩きます。



適応点火プラグ

BPM7A(NGK)

※市販品をご購入の場合は、外した点火プラグを持参し、大きさ・長さを確認しお求めください。

- 4 電極の周辺に、オイルや堆積物が付着している場合は清掃します。



- 5 取外しと反対の手順で取付けます。

キャブレターの点検

必要に応じてエンジンの回転数を調整します。



■アイドリング調整(T)

暖機運転後、アクセルトリガーを放した状態でソーチェンが回り続ける場合は、アイドリング回転を下げてください。

- 1 マイナスドライバーを準備します。

点検整備・清掃の仕方

2 アイドリング調整穴に挿込みアイドル調整ネジを回します。

右に回すと回転が上がります。左に回すと回転が下がります。



※分かりやすいようにカバーを外しています。

★以下の作業は、知識のある方、慣れている方が行ってください。

■高速ニードル(H)

エンジンをかけ、暖気運転後アクセルをいっぱい握った状態で調子を確認します。高速ニードルを時計回りに回す(絞る)と混合比が薄くなり、エンジンがふけるようになります。

※全絞にするとエンジンが焼きつきます。

■低速ニードル(L)

アイドル回転数調整後、アクセルを握ったとき、スムーズに回転があがることを確かめます。スムーズに上がらない場合は、時計の針で2~3分程度の範囲で反時計回りに回します。

■リセットの仕方

調整中に何回転したかわからなくなることがあります。その場合は、リセットします。

時計回りに全閉し、反時計回りで1回転がリセット位置です。

清掃

本機をご使用後は、下記の要領で各部の清掃を行ってください。

清掃をせずにそのまま使用を続けると、故障の原因になります。

■チェーンオイルについて

本機使用後もチェーンオイルが出る場合がありますので、使用後は毎回オイルを抜くことをおすすめします。

●ソーチェーンの清掃

ソーチェーンはガイドバーから外し、木屑等の詰まりを毎回取除いてください。

また、刃こぼれがないか確認してください。



●チェーンカバーの清掃

チェーンカバーを外し、中にたまった木屑等をブラシなどで毎回清掃をしてください。



点検整備・清掃の仕方

●チェーンオイル吐出口・クラッチ・スプロケットの清掃
 チェーンオイル吐出口が、木屑等で詰まるとオイルがチェーンに行きわたらず、故障の原因になりますので、毎回清掃をしてください。

また、クラッチ・スプロケットやその周辺も丁寧に清掃をしてください。



●ガイドバーの清掃

ガイドバーのチェーンオイル注入口が、木屑等で詰まるとオイルがチェーンに行きわたらず、故障の原因になりますので、ソーチェーンを外し毎回清掃をしてください。



チェーンオイル注入口

チェーンの目立て

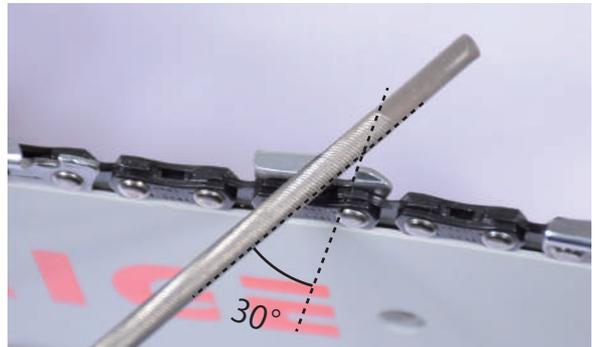
刃の切れ味が悪くなったとき、ソーチェーンの刃の目立てを行います。

1 付属の丸ヤスリを準備します。

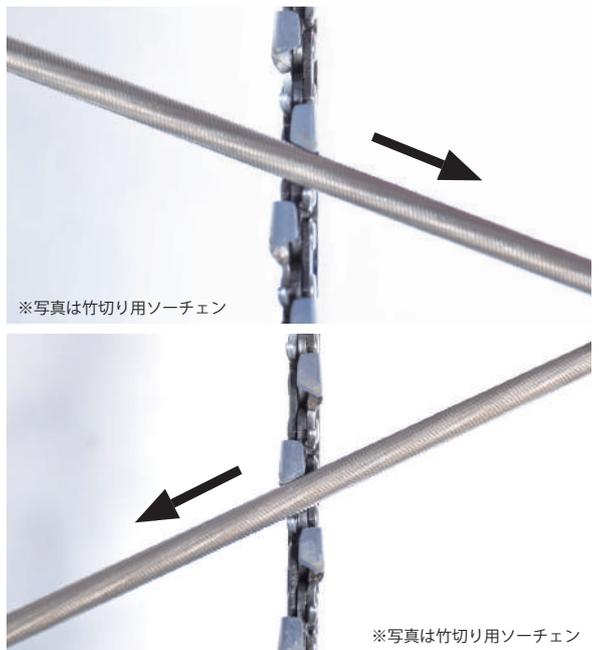
丸ヤスリ	Ø4.5 ~ 4.8mm
------	--------------

2 ソーチェーンの張りを適正にします。

3 目立ては、ヤスリを押し出すときだけヤスリをかけます。
 ヤスリに均等に力が加わるようにします。



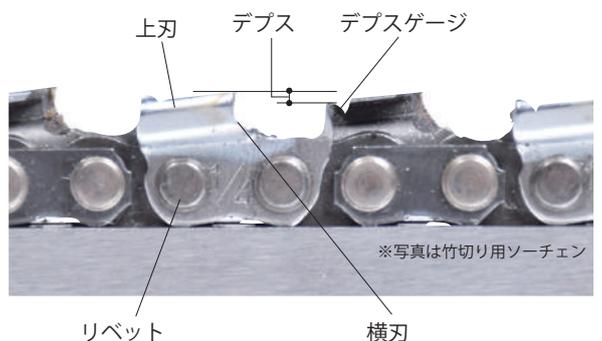
4 目立て開始箇所に目印を付け、片側を1周すべて目立てを行い、次に反対側の目立てを行います。すべての刃を同じ角度でヤスリがけすることが重要です。



※写真は竹切り用ソーチェーン

※写真は竹切り用ソーチェーン

5 上刃よりデプスゲージが下にあることを確認します。上刃が摩耗し、デプスゲージの方が高くなった場合は、平ヤスリでデプスゲージをヤスリがけし低くします。



※写真は竹切り用ソーチェーン

点検整備・清掃の仕方

- 6 刃の欠けやドライブリンクの摩耗や曲がり、リベットの破損がないか確認します。不具合が確認されたら使用を行わずに、新しいソーチェンと交換してください。



- ・不具合のあるソーチェンを使い続けると、重大な事故を起こす恐れがあります。
速やかに新しいソーチェンに交換してください。

●市販の器具を使用

初心者には、ヤスリがけの角度を一定に保つことは難しい作業ですが、市販品には、角度を一定に保つ器具があります。そちらを使用することも選択肢の一つです。

長期間使用しない時

本機を1週間以上使用しない時

- 1** 燃料タンクから燃料を抜きます。
エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1ヵ月以内に使い切ってください。
- 2** エンジンスイッチをOFF「○側」にします。
- 3** オイルタンクからチェーンオイルを抜き取ります。
- 4** ガイドバーカバーを装着し、湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
エンジンがかからない	燃料の混合比 25 : 1 以外を使用している	25 : 1 の混合燃料に交換
点火プラグに火花が出ていない	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.24 参照)
	点火プラグキャップ接続不良	しっかりはめる
	イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	燃料がは入っていない	燃料を入れる
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク内の異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
リコイルスターターが引けない、切れる	スプロケットからソーチェンが外れている	入れ直す リコイルスターターロープが切れた場合は交換

●エンジンはかかるが、回転があがらない

	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.23 参照)
	キャブレタの調整不良	調整 (P.24 参照)

●アクセルを放してもソーチェンが回る

アイドリングの回転数が高すぎる	キャブレタの調整不良	調整 (P.24 参照)
-----------------	------------	--------------

●強く押さないと切れない

	チェンソーの摩耗	ソーチェンの目立て (P.26 参照)
	ガイドバーの摩耗	交換

●燃料やオイルが漏れる

燃料やオイルがキャップから漏れる	ゴムパッキンが変形、または硬化	パッキンを外して、再度付け直す又は交換
------------------	-----------------	---------------------

故障と思ったら

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



カバーを外す際、左右にグリグリ回しながら引き抜くことでスムーズに外すことができます。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付け、スイッチを入れます。



③プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。2人で行うと楽にできます。



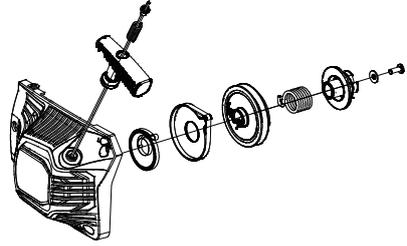
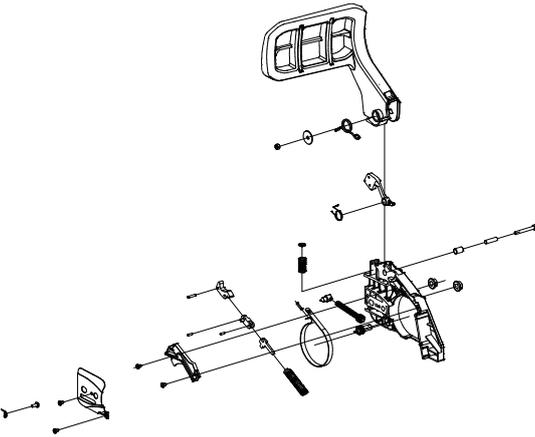
火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧

商品名	商品コード	
ガイドバー 16 インチ リンク数 45	P015	
オレゴン社製ソーチェン 12 インチ・リンク数 45 用	91PX057E	
	91VXL057E	
エアフィルタ	P013	
リコイルスターター アッセンブリー	P014	
ブレーキ アッセンブリー	P012	
調整ネジ アッセンブリー	P021	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年 月 日

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
-------------------------------------	------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------------------------------------

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様	ご購入時 登録の 電話番号	
ご住所 お届け先	〒 ー	普段繋がり やすい 電話番号	
		FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ			
氏名 会社名	様	電話番号	
お届け先	〒 ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 代金引換	みずほ銀行 館林支店 普通口座 1851252 ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181 代引手数料 (1万円未満：330円、3万円未満：440円、10万円未満：660円)	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ) となります。
--	---	---	---

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料ををお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下弊社とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

1. 保証内容

お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下保証修理とする) 保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

2. 保証の期間

商品発送日から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

3. 保証修理の受け方

まずは弊社へ電話またはメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

返送となった場合、商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

保証修理の対象であっても、往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

4. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) ご購入いただいた販売店または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

5. 別扱いの保証

部品メーカーが製造した部品は部品メーカーが定めた保証規約に従って保証されます。

6. 保証の適用

本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した場合、その時点で保証は終了いたします。

本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

■部品について■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
3. 生産終了品につきましては、お取り寄せ不可の場合がございます。
4. 仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合がございます。
5. 仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性がございます。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日
無休受付

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社

〒370-0503

群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い

お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を
必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

0276-55-2275

受付：月曜日～金曜日 10:00～15:00 第1・第3・第5土曜日 10:00～12:00
受付中止：平日 12:00～12:50 ◎定休日：第2・第4土曜日、日曜日、祝祭日